

改訂まんなかビジョン骨子(案)

・基本理念

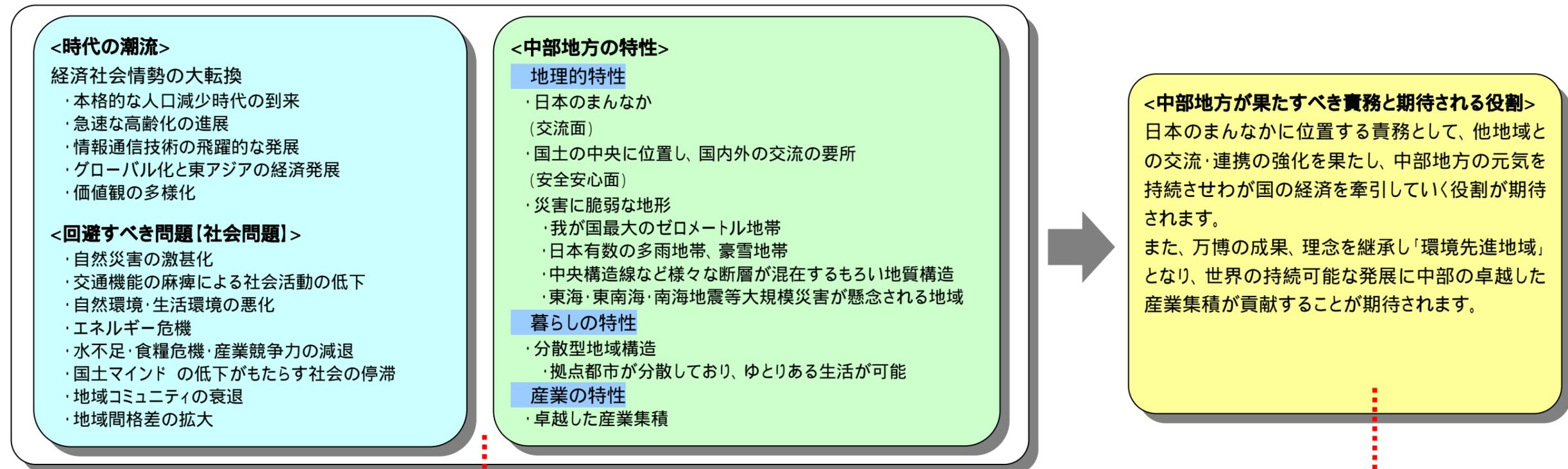
中部地方の将来像	1
将来像を実現するための基本的スタンス	2

・政策体系(改善案)

目指すべき将来像と具体的な目標(アウトカム目標)	3
(安全・安心)東海・東南海・南海地震や集中豪雨などの災害に強い安全・安心な中部	5
(産業競争力)ものづくりなど産業競争力を一層強化し日本経済の発展に寄与する中部	6
(環境・景観)中部山岳など美しい自然・国土を回復し環境にやさしい持続可能な中部.....	7
(交流・連携)世界遺産などのすぐれた歴史文化等の地域資源等を活用し国内外の交流・連携を拡大する中部	8
(暮らし)多様なライフスタイル・都市と地方など地域の特色を活かした暮らし・生活環境を実現する中部	9

基本理念：中部地方の将来像

求められる中部の将来像を実現するためには、時代の潮流や回避すべき社会問題、社会資本へのニーズをはじめとする地域の声、中部地方が有する特性を認識し、果たすべき責務や期待される役割をもって目指すべき方向を確認し、課題を克服することが最も効率的で効果的であると考えます。



中部地方の課題

東海・東南海・南海地震等の巨大地震の発生や集中豪雨、台風による水害等の発生が懸念されているなか、国土のまんなかに位置し日本の大動脈を担う中部地方は、災害に強い地域づくりを進め、東西軸・南北軸を形成する社会基盤の信頼性・確実性を担保し、日本の経済社会活動を支えていく責務があります。

また、グローバル化やアジア諸国の経済発展が目覚ましく進展しているなか、日本経済が持続的に発展していくためには、卓越した産業集積を有する中部の産業競争力をより強化していく必要があります。

一方、これまでの経済発展の中で発生した負の遺産ともいえる様々な環境問題等に対し、環境万博の開催地の責務として万博理念を継承し、積極的に環境創造を進めていくことが重要です。

また、人口減少・少子高齢社会を迎えるなか、豊富な地域資源や愛・地球博の開催で培った国際交流の実績や交流基盤等を活かした国内外の交流拡大によって地域の活性化を図るとともに、社会の成熟化に伴う多様なライフスタイルニーズを満たす豊かでゆとりのある地域づくりを中部が率先して実践していく必要があります。

求められる
将来像

世界の人々が交流する中で人知が結集し、世代を超えて、
生きることや地球のすばらしさを共有し心の豊かさを実感できる中部

基本理念：将来像を実現するための基本的スタンス

中部地方の将来像を実現するために、必要とされる政策を無駄なく着実に実行するため、7つの基本的スタンスのもとで、まんなかビジョンを推進していきます。

成果重視

これからの行政運営には、国民から見て分かりやすく成果の達成度を踏まえた政策を展開していくことが必要です。このため、企画立案(Plan)、実施(Do)評価(Check)、政策への反映(Action)のサイクルに沿って、国民にとって納得できる成果が達成されたかどうかを絶えず評価し、その結果を踏まえた施策を効率的・効果的に実施します。また国民に対する透明性を高めつつ、客観性を重視した評価を着実に行っていきます。具体的には、まんなかビジョンにおいてPDCAのマネジメントサイクルにより積極的な政策評価の推進を図るとともに、個別の事業においても、事業評価の厳格な実施により、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図っていきます。

効率性重視

時代の要請として、厳しい財政事情の下で社会資本整備を着実に進めていくためには、効率性・競争性を重視した政策展開が必要です。このため、公共事業のコスト縮減については、「事業のスピードアップ」、「計画・設計から管理までの各段階における最適化」、「調達の最適化」を見直しの要点に加え、コストの観点から公共事業のすべての過程を見直す公共事業コスト構造改革の推進に取り組んでいきます。

技術力・技術開発

公共工事においては、調達時点で品質を確保できる物品購入等とは異なり、価格だけではなく技術や品質を含めた評価の下で、健全な競争が行われることが重要な課題となっており、平成17年4月には「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が施行されました。こうした背景から、技術力を重視した公共調達の推進を図ります。また、技術開発の実施に当たっては、産学官の連携体制を一層の充実を図りつつ、分野横断的・総合的な技術研究開発を推進します。

新たな協働 (自助・共助・公助)

きめ細かいことは個人が、重要な骨格は行政がという視点で、防災をはじめとして国土づくり、地域づくりにおいて行政と住民との間で取り組まれてきた自助・共助・公助の役割分担を見直し、地域の多様な主体が主体的に取り組む流れが重要です。また「官から民へ」の流れの中で、民間の創意工夫やノウハウが十分発揮できるよう、PFIの推進、規制改革の推進に取り組んでいきます。このような取り組みを進めていくため、国民との継続的な対話を通して情報の共有、信頼関係を強化できるような運営を図ります。

既存ストックの徹底活用・長寿命化

これまでに整備された社会資本は相当な規模となっており、適切な維持管理を行い、その有効利用を図ることの重要性が高まっています。また、国と地方の厳しい財政状況の中で、近い将来、高度成長期に整備された大量の社会資本の老朽化が進み、集中的に多額の更新投資等が必要とされる事態が懸念されます。このような状況下においては、ソフト施策との連携等により既存ストックの整備効果を相乗的に高める工夫を行うとともに、社会資本の更新時期の平準化、維持管理や更新を考慮に入れたトータルコストの縮減等を図るため、総合的な資産管理手法を導入し、効率的・計画的な維持管理を推進することが重要です。

ユニバーサルデザイン

本格的な少子高齢社会の到来や人口の減少等が見込まれるなか、従来のバリアフリー施策に加え「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方に基づき、まちづくりや交通環境整備を進めていくことが必要です。こうしたユニバーサルデザインの考え方を踏まえた施策を推進するため国土交通省は、平成17年7月に「ユニバーサルデザイン政策大綱」を策定しています。今後、この大綱に基づき、多様な関係者(利用者、住民、NPO等)の参画の仕組みの構築、一体的・総合的なバリアフリー施策の推進、だれもが安全で円滑に利用できる公共交通の実現、だれもが安全で暮らしやすいまちづくり等の各種施策に取り組んでいきます。

IT技術の活用

政府は、IT戦略本部(高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部)の下、「e-Japan戦略」等を踏まえ、平成17年までに世界最先端のIT国家となることを目標に、IT政策に取り組んで来ました。さらに平成18年1月には、ITに関する基本戦略として「IT新改革戦略 - いつでも、どこでも、誰でもITの恩恵を実感できる社会の実現 - 」が新たにとりまとめられています。国土交通行政においても場所情報システムの構築、交通分野のIT化、地理情報システムを有効活用した電子国土の実現など、いつでも、どこでも、誰でもITの恩恵を実感できる社会の実現に寄与していくことが重要と考えます。

政策体系(改善案) : 目指すべき将来像と具体的な目標(アウトカム目標)

中部を取り巻く現状・特性 / 中部の責務・役割			目指すべき将来像
【安全・安心】 <現状認識のキーワード> ・地球温暖化の進行と気候変動等による災害の多発 ・国内外における大規模な事件・事故の多発 ・大規模地震発生への懸念、豪雨・高潮等による水害・土砂災害の多発 1 - 1	<中部の現状・特性> ・東海・東南海・南海地震等の大地震の発生が懸念される中部 ・身近で多発する交通事故・犯罪への対応が重視される中部 ・急流河川や国内最大のゼロメートル地帯を抱えるなか、梅雨期の集中豪雨や台風による水害、土砂災害及び高潮災害等の発生頻度の増加・発生規模の増大が懸念される中部 ・近年の少雨化傾向や年間降水量のバラツキの拡大により、今以上に渇水の頻発が懸念される中部 1 - 2	<中部の責務・役割> ・東西交通の要衝・国土の東西軸と南北軸の信頼性・確実性を担保する中部 1 - 3	東海・東南海・南海地震や集中豪雨、高潮などの災害に強い安全・安心な中部 1 - 4
【産業競争力】 <現状認識のキーワード> ・ものづくりを中心とした産業の国際競争力の強化 ・アジア太平洋地域の連携 2 - 1	<中部の現状・特性> ・ものづくり産業の集積地である中部 ・物流ネットワークの強化が求められる中部 ・災害、渇水等発生により生産活動への影響が懸念される中部 2 - 2	<中部の責務・役割> ・自動車産業を中心にわが国の産業を支え、産業競争力の強化を担う中部 ・首都圏、近畿圏への食料品の一大供給地としての役割を担う中部 ・豊富な水資源を活用して、安定した生産活動を支える役割を担う中部 2 - 3	ものづくりなど産業競争力を一層強化しわが国の経済発展に寄与する中部 2 - 4
【環境・景観】 <現状認識のキーワード> ・世界規模の人口急増、食糧・水・エネルギー需要の急増 ・温室効果ガスの排出増加に伴う地球温暖化 ・ごみ問題の深刻化、大量生産大量廃棄型社会の見直し 3 - 1	<中部の現状・特性> ・全国の人口重心が位置する中部 ・美しい自然環境・歴史・文化資源の豊富な中部 ・愛・地球博の理念を継承し、地球環境問題等に積極的に取り組む中部 ・山地部では地すべり、土石流等の発生、河川では堆砂によるダム貯水機能の低下、下流部等の河床低下、海岸線の後退等の問題が発生している中部 ・閉鎖性水域（伊勢湾・三河湾等）の水質悪化、生物多様性の低下 ・佐鳴湖や油ヶ淵等の劣悪な水質 3 - 2	<中部の責務・役割> ・中部山岳など優れた自然資源・環境の宝庫である中部 ・首都圏、近畿圏への食料品の一大供給地としての役割を担う中部 ・豊富な水資源を活用して、ものづくり・食料等の生産を担保する中部 3 - 3	中部山岳など美しい自然・国土を回復し環境にやさしい持続可能な中部 3 - 4
【交流・連携】 <現状認識のキーワード> ・人口減少社会の到来、少子高齢化の進行 ・国際交流の拡大 4 - 1	<中部の現状・特性> ・自然・歴史文化・産業等の地域資源を活かした国内外の交流拡大に取り組む中部 ・地方都市等における中心市街地の空洞化 4 - 2	<中部の責務・役割> ・東西交通の要衝・国土の東西軸と南北軸の信頼性・確実性を担保する中部 4 - 3	世界遺産などのすぐれた歴史文化等の地域資源等を活用し国内外の交流・連携を拡大する中部 4 - 4
【暮らし】 <現状認識のキーワード> ・人口減少社会の到来、少子高齢化の進行 ・デフレ経済の終息化と都市と地方の格差の顕在化 ・ライフスタイルの多様化、女性・高齢者の就業、所得格差の拡大 ・経済のサービス化の進展・情報社会の高度化 ・住宅の品質問題、耐震問題 ・NPO・ボランティア等新たな公益的な担い手の拡大気運 5 - 1	<中部の現状・特性> ・中山間地域を始めとして、過疎化・高齢化が進行し地域格差の拡大する中部 ・地方都市等における暮らしを支える公共交通の再生が求められる中部 ・高齢者等の交通事故の増加 5 - 2	<中部の責務・役割> ・過疎化・高齢化が進行し人口減少社会に対応した社会資本整備・地域づくり ・中山間地域等の暮らしを支える交流ネットワークの形成 ・中心市街地の活性化支援 5 - 3	多様なライフスタイル・都市と地方など地域の特色を活かした暮らし・生活環境を実現する中部 5 - 4

政策体系(改善案) : 目指すべき将来像と具体的な目標(アウトカム目標)

	目指すべき将来像	将来像の実現に向けた圏域整備のあり方	アウトカム目標
【安全・安心】	<p>東海・東南海・南海地震や集中豪雨、高潮などの災害に強い安全・安心な中部</p> <p>1 - 4</p>	<p>私たちの目指すべき地域像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時に被災の危険性の高い区域の解消に取り組む地域 ・大規模災害時にも社会経済活動が麻痺しない社会資本の整った地域 ・あらゆる災害発生時にも対応・復旧が迅速に為される安全・安心な地域 <p>1 - 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国土を保全し災害の発生を抑止するとともに、これまで整備した社会資本を適切に維持・管理、更新し、日本の大動脈の信頼性を向上します 防災上、危険性が高い地区を解消し、安全な都市・地域生活を実現します 大規模地震の発生に対する安全性を確保します 豪雨、高潮による水害・土砂災害・雪害や濁水等に対する安全性を確保します 災害発生時の避難誘導・救助活動とその後の復旧・復興を迅速かつ円滑に行います <p>1 - 6</p>
【産業競争力】	<p>ものづくりなど産業競争力を一層強化しわが国の経済発展に寄与する中部</p> <p>2 - 4</p>	<p>私たちの目指すべき地域像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐれた技術開発力に魅せられ国内外の企業が立地をあこがれる地域 ・国内外と高度な物流ネットワークで繋がれた地域 ・安全・安心・安定した国際水準の交通基盤・生産基盤の整った地域 <p>2 - 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> 港湾・空港の物流機能を強化し、円滑な国際物流ネットワークを形成します 国際水準の道路交通ネットワークを形成し、物流の信頼性を高めます 産業集積機能を強化するとともに、都市内物流の効率化を推進します 既存ストックを徹底活用し、陸・海・空が一体となった高度な物流システムを構築します ものづくりに不可欠な水の安定供給をおこないます <p>2 - 6</p>
【環境・景観】	<p>中部山岳など美しい自然・国土を回復し環境にやさしい持続可能な中部</p> <p>3 - 4</p>	<p>私たちの目指すべき地域像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化等の環境問題に積極的に取り組む環境先進地域 ・美しい自然環境・歴史・文化資源の保全・再生・創出に取り組む地域 ・上流から下流まで一体となって環境保全に取り組む地域 <p>3 - 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化を抑制するため温室効果ガスの削減を推進します 大気環境の改善・ヒートアイランドの抑制を支援します ごみの発生抑制・循環型社会の構築を支援します 美しい自然環境を保全・創出し、多様な生態系を維持・再生するとともに健全な水循環系や流砂系を構築します 都市と農山漁村地域と一体となった持続可能な美しい環境を創出します 環境にやさしい持続可能な交通ネットワークの形成を推進します 自然環境・歴史・文化資源を再生・活用した魅力ある景観を創出します <p>3 - 6</p>
【交流・連携】	<p>世界遺産などのすぐれた歴史文化等の地域資源等を活用し国内外の交流・連携を拡大する中部</p> <p>4 - 4</p>	<p>私たちの目指すべき地域像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際的な交流を育み、国外からの来訪者が拡大する地域 ・我が国の人・物・情報の交流拠点となる地域 ・地域資源を活かした交流ネットワークが形成され、観光交流の活発な地域 <p>4 - 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国際都市・名古屋の賑わい創出・都市機能の高度化を図ります 都市活力を最大限に引き出す戦略的な成長基盤の整備を支援します(地域の自立促進) 中山間地域・農山漁村地域の地域づくり、人材育成を支援します 地理的特性と東西南北軸交通、情報などを活用した国内外交流を拡大します 自然環境、歴史文化、産業など地域資源を活用した地域の魅力向上や国内外の観光交流の拡大を図ります <p>4 - 6</p>
【暮らし】	<p>多様なライフスタイル・都市と地方など地域の特色を活かした暮らし・生活環境を実現する中部</p> <p>5 - 4</p>	<p>私たちの目指すべき地域像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様なライフスタイルを実現することが可能な地域 ・誇りと愛着をもってまちづくり等に参加できる地域 ・誰もがどこでも快適に暮らすことのできる、豊かな地域 <p>5 - 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少・少子高齢社会及び多様なライフスタイルに対応した豊かな暮らしを実現します 住宅・住環境の質を高め、安全で健康な暮らしを実現します ユニバーサルデザインが実感できる社会を実現します 交通事故・犯罪による不安の解消を目指して安心して暮らせる生活環境を形成します 公共交通機関の利便性を向上します ユビキタスネットワーク 社会に対応した情報提供を進めます 誇りや愛着を持てる協働・参加型の地域づくりを支援します <p>5 - 6</p>



(解説文)
真に豊かな暮らしの創造とともに、ものづくり産業等を中心に日本の社会経済活動を支える中部において安全で安心できる地域を形成することは、豊かな生活と産業発展を支える重要な礎です。
そのため、東海・東南海・南海地震、豪雨・高潮等の大規模災害に強い中部を構築し、住民の貴重な生命・財産を守り、安心して暮らせ、産業活動を行なうことのできる地域をめざします。
災害に強い地域づくりの方向として、大規模災害に備えた社会インフラの着実な整備及び信頼性の確保を重視するとともに、不測の事態に備え、被害の最小化に着目した取り組みを進めます。また、災害発生時の避難・救助及び復旧、復興を迅速かつ円滑に進めるための取り組みを進めます。

【私たちの目指すべき地域像】

- 災害発生時に被災の危険性の高い区域の解消に取り組む地域
- 大規模災害時にも社会経済活動が麻痺しない社会資本の整った地域
- あらゆる災害発生時にも対応・復旧が迅速に為される安全・安心な地域

目標 国土を保全し災害の発生を抑止するとともに、これまで整備した社会資本を適切に維持・管理、更新し、日本の大動脈の信頼性を向上します

森林の荒廃を抑制・回復するとともに、流域の土砂移動の連続性を確保し、堆砂によるダム機能の低下や海岸侵食を抑制することにより、国土を保全します
東海・東南海・南海地震等の大規模災害への備えや交通量の増大に対応し、東名・名神高速道路、国道1号、J R東海道新幹線や東海道本線などの東西大動脈を支える社会資本の機能強化を図るとともに、大規模災害の発生を想定した代替路を確保するなど、東西大動脈の安全性・信頼性を確保します
これまでに整備してきた社会資本が今後老朽化していくことに備え、計画的かつ効率的に社会資本の維持・更新を図ります

目標 防災上、危険性が高い地区を解消し、安全な都市・地域生活を実現します

災害が起こりやすい地域の土地利用の見直しや安全な地域への移転誘導など土地利用の適正化を促進するとともに、災害に強い住まい方へ誘導し、災害発生時の被害を低減します
洪水氾濫等の危険性の高い地域における保水・遊水機能の保全を図るとともに、洪水氾濫の拡大を防止する施設整備など減災対策を効率的に進め、洪水、高潮、津波発生時における被害の最小化・被害の拡大防止を図ります

目標 大規模地震の発生に対する安全性を確保します

既存の住宅・建築物の耐震診断・改修や耐震性能の高い住宅・建築物の建設を促進することで、住宅・建築物の耐震性能の強化を図ります
防災上危険な密集市街地の解消、駅等の主要施設周辺における避難路や避難地として機能するオープンスペースの確保など、大規模地震の発生に備え災害に強いまちづくりを推進します
津波等大規模地震に伴う二次災害を防止するため、海岸・河川堤防の耐震化を推進するとともに、災害時の緊急物資等の輸送や被災後の復旧・復興を支える港湾施設など社会資本・構造物の耐震化や災害時の広域的な防災拠点となる官庁施設の耐震化を推進します
大規模地震の発生に備え、安全で規格の高い道路ネットワークを形成するとともに、幹線道路などの欠落区間の解消などに配慮し、被災時の緊急輸送路となる道路網の機能強化を図ります

目標 豪雨、高潮による水害・土砂災害・雪害や濁水等に対する安全性を確保します

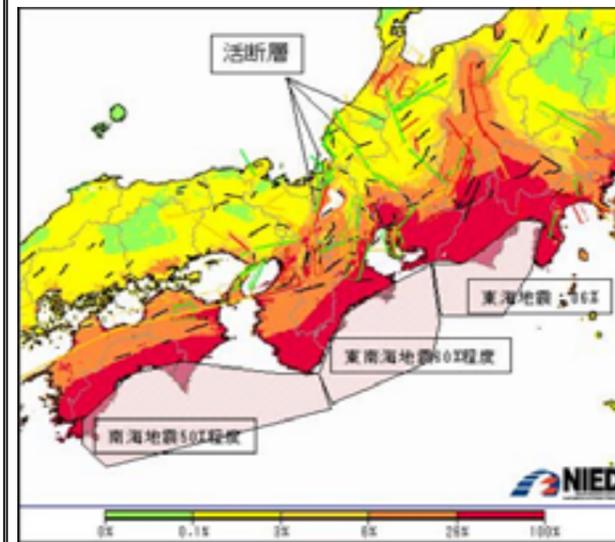
河川と下水道の連携や既存ダムの有効活用など流域が一体となった総合的な洪水氾濫対策を進め、頻発する集中豪雨等から洪水被害・浸水被害を軽減します
風水害・雪害・凍結等による道路等の交通障害・交通分断を回避するため、地域の基幹的な道路における土砂災害対策等を進めるとともに、道路ネットワークの欠落区間の解消を図り、災害に強い道路ネットワークを形成します
日本最大のゼロメートル地帯における洪水・高潮対策を推進します
多発する集中豪雨に対応した土砂災害対策を推進します
水源地の保全を図るとともに、ダム、導水路の建設、既設ダムの有効活用などを進め、水資源の安定的な確保を図ります

目標 災害発生時の避難誘導・救助活動とその後の復旧・復興を迅速かつ円滑に行います

だれもが入手しやすい防災情報の提供・防災情報の共有化・高度化を図ります
安心して避難できる避難路・避難地の確保及び広域防災拠点の整備を推進するとともに、関係機関が連携して災害時の避難誘導體制を強化します
複合型大規模災害等の発生に備えた迅速な応急復旧体制を構築します
重要輸送路の耐震強化や緊急輸送網の代替性確保など社会資本の災害復旧機能を強化します
大規模災害に備えた危機管理行動計画を策定し、災害発生時の円滑な避難誘導・救助体制の構築並びに復興支援をします

【ポイント】

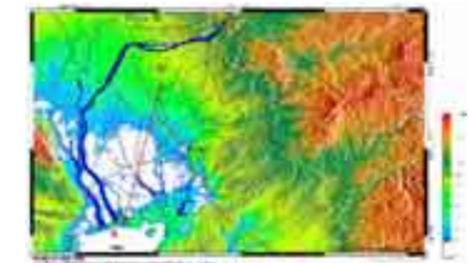
大地震等の発生が懸念される中部
中部の広い地域で、震度6以上の大規模地震の影響を受けることが予測され、社会資本・建築物の耐震化、復興復旧時のバックアップ体制の強化が課題となっています。



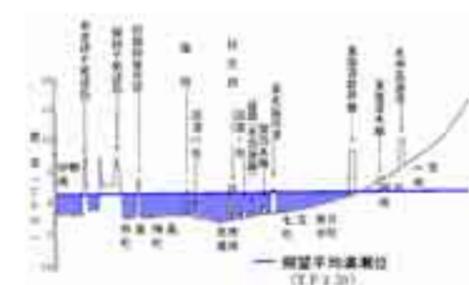
出典：独立行政法人防災科学技術研究所 HP 「地震ハザードステーション」より

地球温暖化により、大規模な洪水・高潮災害の発生が懸念される中部

ゼロメートル地帯では、陸側の地盤高よりも海や河川の水位の方が高いため、いったん海水や河川水が流入すると、止めどなく流入し続けるとともに、排水が困難となることから、壊滅的な打撃を被ります。



出典：東京大学大学院総合文化研究科教養学部清野研究室



出典：濃尾平野の地盤沈下の状況(東海三県地盤沈下調査会)

ものづくりなど産業競争力を一層強化し日本経済の発展に寄与する中部



(解説文)
 社会経済のグローバル化の進展に伴い、世界規模の国際物流の増大、日本の東アジアとの相互依存関係の強化、国際的なジャストインタイムの要請等が高まっています。
 日本がグローバル経済への対応に遅れをとった場合、今後、人口減少、少子高齢化が進行するなかで、社会経済活動の停滞を招くことが懸念されます。また、距離的にも近い東アジア域内物流が準国内物流化しつつあるなかで、東アジア各国は、空港・港湾等の物流基盤を拡大し、求心力を高めつつあります。
 日本が、国際競争力を高めていくためにも、中部はものづくり産業などの高度な産業集積を活かして、日本経済の発展に寄与する国際水準の競争基盤を整備し、産業競争力の更なる強化を目指します。

【私たちの目指すべき地域像】

- すぐれた技術開発力に魅せられ国内外の企業が立地をあこがれる地域
- 国内外と高度な物流ネットワークで繋がれた地域
- 安全・安心・安定した国際水準の交通基盤・生産基盤の整った地域

目標 港湾・空港の物流機能を強化し、円滑な国際物流ネットワークを形成します
 港湾や空港の機能強化を推進し、物流の迅速性・確実性・安全性を向上させるとともに、IT技術の活用などによる物流のリードタイムの短縮・コスト縮減を図ります
 国際港湾・国際空港と一体となった高度物流拠点機能の強化を図るとともに、空港・港湾における輸出入手続きサービスの高度化やセキュリティの強化を図り、国際水準のサービスを実現します

目標 国際水準の道路ネットワークを形成し、物流の信頼性を高めます
 都市・産業集積地等と空港・港湾を結ぶ道路のボトルネックの解消や代替性の確保などアクセス機能の向上を図るとともに、国際水準の道路ネットワークを形成します
 「ものづくり中部」の産業集積地間の連携を育む高速交通ネットワークの強化を図ります
 港湾・空港と道路・鉄道ネットワークとの円滑で迅速な接続機能を強化するとともに、中部の港湾・空港と国内各地の産業集積地・消費地を結ぶ高速交通ネットワークの円滑性・迅速性・経済性を高めます

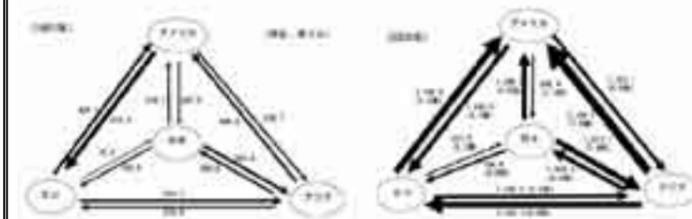
目標 産業集積機能を強化するとともに、都市内物流の効率化を推進します
 道路ネットワークのボトルネックの解消やITSを活用した交通流対策の推進など既存インフラを徹底活用した円滑な道路環境を形成し、産業集積機能の強化を図ります
 都市部におけるバイパス機能の確保、環状ネットワークの形成など都市内物流の円滑化に資する交通ネットワークを形成するとともに、都市中心部における共同集配拠点等の整備や交通円滑化対策などにより、都市内物流の円滑化・効率化を図ります

目標 既存ストックを徹底活用し、陸・海・空が一体となった高度な物流システムを構築します
 高度物流拠点の整備を促進し、加工・保管・輸配送等、総合的かつ効率的な流通サービスを実現します
 港湾・空港や高速道路インターチェンジ等周辺への物流拠点の立地を促進し、道路ネットワークと一体となった物流機能の集約化を図ります
 共同集配拠点等を整備し、共同輸配送等による配送ネットワークの効率化を促進します

目標 ものづくりに不可欠な水の安定供給を行います
 国民の生活、産業活動を支える水の安定供給を行うために、水源地域を多く有する地理的特性を活かし、水資源の貯留、導水機能等の維持・強化を図ります

【ポイント】

拡大する東アジア経済圏の繋がり
 アジア地域から米国向けの輸出額は20年間で7.3倍、EU向けの輸出額は8.0倍と世界平均よりも速いペースで増加しており、アジアと欧米間では、日本が高い生産技術を要求される中間財を生産し、中国・アセアンが日本の中間財を輸入して最終財に組立て、最終消費地である欧米諸国へ輸出するサプライチェーンが成立。

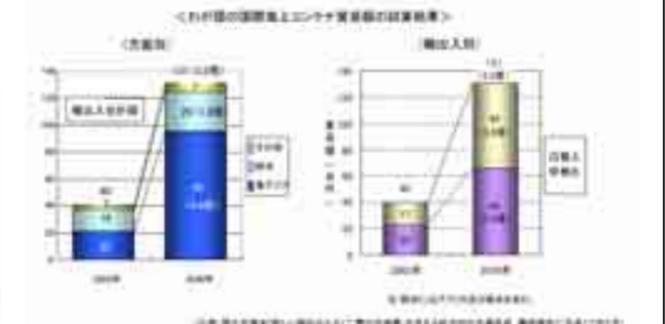


(出典：内閣府「世界経済の潮流」(2004年版)



(出典：財務省貿易統計をもとに国土交通省国土計画局作成)

我が国における国際海上貿易コンテナの動向
 2030年時点における我が国の国際海上コンテナ貿易額の試算によると、2003年と比較して輸出入合計で2.2倍、特に対東アジアは4.4倍に達すると予測されます。



我が国の国力を支える産業の持続的な成長が求められます
 これまで我が国経済を牽引してきた産業集積ストックを活かして、国力維持に向け、引き続き産業を発展させていく必要があります。

中部地方の製造品出荷額等と国内総生産(GDP)の推移



出典：工業統計、国民経済計算

中部山岳など美しい自然・国土を回復し環境にやさしい持続可能な中部



(解説文)
地球環境問題や世界的な資源・エネルギー問題の顕在化の中、「愛・地球博」を開催した中部地方においては、その理念を継承し、率先して環境問題に対して取り組んでいく必要があります。
そのため、地球温暖化対策をはじめ循環型社会の構築を図るとともに、森林・農地の荒廃を食い止め、多様な生物が生息する環境の保全・再生・創出に努めます。
また、中部山岳や富士山をはじめ伊勢湾・駿河湾など豊かな自然資源とそれによって培われてきた歴史・文化を活かした景観形成を図り、中部から美しい国土づくりを進めていきます。

【私たちの目指すべき地域像】

- 万博理念を継承し地球温暖化等の環境問題に積極的に取り組む環境先進地域
- 美しい自然環境・歴史・文化資源の保全・再生・創出に取り組む地域
- 上流から下流まで一体となって環境保全に取り組む地域

目標 地球温暖化を抑制するため温室効果ガスの削減を推進します

幹線道路ネットワークの整備や道路ネットワークのボトルネックの解消等を進めるとともに、ITSの導入推進を図り、CO2の排出を削減に資する円滑な道路交通体系を構築します
3PL事業による物流効率化やモーダルシフトの促進、物流のグリーン化を推進し、環境負荷の小さい効率的な物流体系を構築します
風力・太陽光などの自然エネルギーの活用や燃料電池車・CNG車などの低燃費車の普及促進を図ります
環境共生住宅等省エネルギー型の建築物の普及促進
森林による二酸化炭素固定機能を発揮するため、森林・水源地を保全します

目標 大気環境の改善・ヒートアイランドの抑制を支援します

交通が集中する幹線道路における環境施設帯等の整備、防音・振動対策など沿道環境改善を推進します
道路ネットワークのボトルネックの解消やITSを活用した交通流対策を推進し、自動車交通の円滑化により環境への負荷を軽減します
低公害車の普及促進、船舶からの排出ガス対策の強化、エコエアポートの推進などにより、様々な交通手段における環境負荷の軽減を図ります
環境共生住宅等省エネルギー型の建築物の普及促進や都市部における水辺・緑の確保、広域的な水と緑のネットワークの形成を図り、ヒートアイランド対策を推進します

目標 ごみの発生抑制・循環型社会の構築を支援します

建設リサイクルなど社会資本整備に伴う廃棄物の排出抑制・再利用・再資源化、最終廃棄物の処理の適正化を図るとともに、なお残る廃棄物に対して最終処分場の確保を図ります
静脈物流拠点の整備と広域的な静脈物流ネットワークを形成します
下水污泥処理等によって発生するエネルギーの有効活用を図ります

目標 美しい自然環境を保全・創出し、多様な生態系を維持・再生するとともに健全な水循環系や流砂系を構築します

湖沼や都市河川の浄化、河川水量等の改善を推進するとともに、多自然川づくりなど生物多様性に富む美しい河川環境の保全・再生・創出を図ります
伊勢湾・三河湾等の閉鎖性水域の水質改善や海域・沿岸域における良好な環境の保全・再生・創出を図ります
良好な緑地の整備を推進するとともに、森林保全を進め、地域固有の生物多様性の回復、豊かな自然環境を創出します
ダム・砂防施設等の改良・再編、山から海までの総合的な土砂管理対策を推進し、土砂移動の連続性を確保し、レキ川原や白砂青松の海岸への復活を目指します
雨水浸透等による地下水のかん養や下水道高度処理水の河川への還元などにより、健全な水循環系を構築します
離岸堤などの整備を行うとともに砂防堰堤や河川、港湾の掘削・浚渫土を活用した養浜を推進し、海岸線の保全・再生を図ります

目標 都市と農山漁村地域と一体となった持続可能な美しい環境を創出します

森林管理を担う中山間地域の生活を支える道路の整備や公共交通の確保を図ります
流域圏内の交流活性化に資する交通ネットワークの整備を進め上下流域の交流を促進するとともに、都市と一体となった流域及び水源地域の保全を図ります

目標 環境にやさしい持続可能な交通ネットワークの形成を推進します

TDMの推進、ITSの積極導入など先進的な交通モデル都市を形成します
モビリティ・マネジメントを導入し、公共交通や自転車等の環境にやさしい交通手段の利用促進を図ります

目標 自然環境・歴史・文化資源を再生・活用した魅力ある景観を創出します

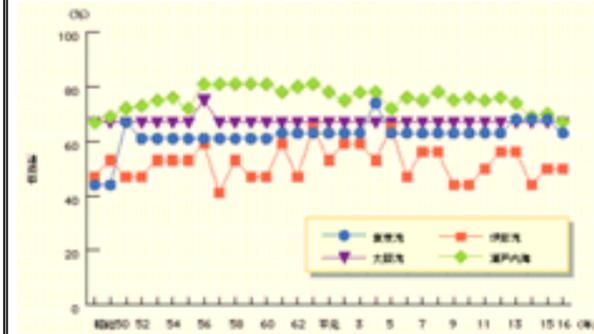
旧街道沿いの街並みなど伝統的街並みの保全・再生や歴史的建造物、近代土木遺産の保全を図ります
中部の豊かな自然景観を活用した沿道景観や水辺景観を形成します
景観形成区域の街並み整備や幹線道路の無電柱化の推進、屋外広告物等の適正化を図り、誇りの持てる魅力的な都市・地域景観を形成します

【ポイント】

水質改善の遅れる伊勢湾等の閉鎖性水域
伊勢湾のCOD環境基準達成率は、東京湾、大阪湾と比較すると低い状況

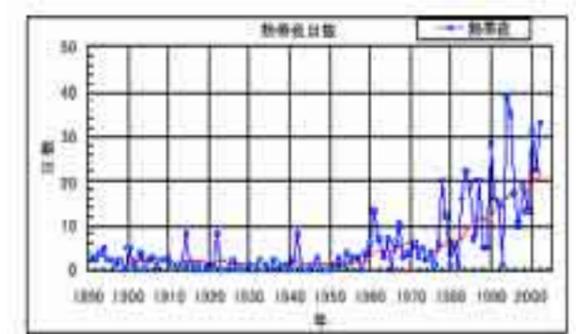
都市部を中心にヒートアイランド現象が顕在化
都市部を中心に大気汚染、騒音・振動等に対し沿道環境の改善を進める必要があります。また、都市の人工物の増加、緑地の減少等によるヒートアイランドへの対応も重要となっています。

伊勢湾と国内三海域の環境基準(COD)達成率の推移(S50~H16年度)



注：伊勢湾は三河湾を含み、瀬戸内海は大阪湾を含む。
出典：環境省『平成16年度公共用水域水質測定結果』

名古屋市の熱帯夜日数の推移



出典：中部ニュービジネス協議会 HP

世界遺産などのすぐれた歴史文化等の地域資源等を活用し国内外の交流・連携を拡大する中部



(解説文)
人口減少社会が進む中、交流人口の拡大は中部のみならず日本全体の活性化にとって必要不可欠な視点です。
中部地方は日本のまんなか位置し、日本の大動脈である東西交通の要衝として古来から人・モノ・情報・文化の交流拠点として栄えてきました。今後も東西・南北の国土軸を担う要衝として、その信頼性・確実性を担保する責務を果たしていくことが重要です。
したがって、中部が有する豊かな自然環境・歴史文化・産業などの地域資源の活用・交流促進を担う人材の育成等を進めるとともに、万博開催によって進展した交通基盤を活かして国内外の交流拡大を図り、以て日本の社会経済活動の活性化に寄与する中部を目指します。

【私たちの目指すべき地域像】

- 国際的な交流を育み、国外からの来訪者が拡大する地域
- 国内の人・物・情報の交流拠点となる地域
- 地域資源を活かした交流ネットワークが形成され、観光交流の活発な地域

目標 国際都市・名古屋の賑わい創出・都市機能の高度化を図ります

国際的な企業活動や交流に対応しうる世界水準の人・モノ・情報が集積した、多くの人が集い賑わう魅力ある高機能都市名古屋を形成します
名古屋での各種の会議、アフターコンベンションの機会を増すとともに、外国人の暮らしやすさに配慮した名古屋の国際的都市機能の向上を図ります
川と街が一体となった整備によって、水辺空間を活かした潤いと魅力あるまちづくりを進めます

目標 都市活力を最大限に引き出す戦略的な成長基盤の整備を支援します(地域の自立促進)

各拠点都市及び地方都市において、都市再生、まちなか居住、中心市街地活性化等をすすめ、都市機能を集積し、成長基盤の高度化を図ります
都市内及び都市間の交通ネットワークを形成するとともに、空港、港湾、鉄道駅交通結節機能を強化します

目標 中山間地域・農山漁村の地域づくり、人材育成を支援します

中山間地域・農山漁村地域の観光交流資源の発掘・活用や、ボランティアガイド等の人材育成し、交流人口の拡大など地域の活性化を図ります
地域間の連携を促進するとともに、都市と中山間地域・農山漁村地域をつなぐネットワークを形成します

目標 地理的特性と東西南北軸交通、情報などを活用した国内外交流を拡大します

我が国の社会経済活動の中核である東西大動脈の交流拡大(首都圏及び近畿圏等との連携)に貢献するため、高速道路、鉄道ネットワークの強化・多様化を図ります
南北軸を活かして北陸地域との観光連携を強化するなど、環日本海経済圏との交流を拡大します
中部が有する地域資源を様々な情報メディアを通して国内外に発信するとともに、万博開催によって整備されたインフラを活用し、国内外の交流の拡大を図ります

目標 自然環境、歴史文化、産業など地域資源を活用した地域の魅力向上や国内外の観光交流の拡大を図ります

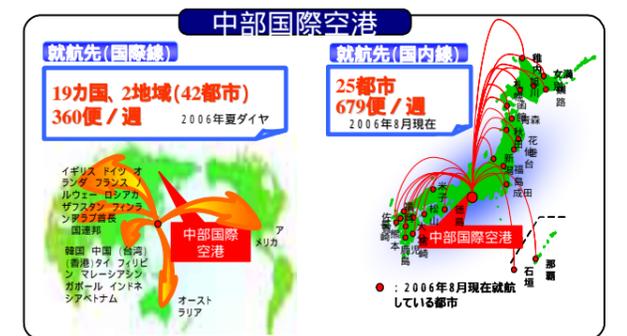
東海環状都市圏のネットワークを形成するとともに、沿線の産業拠点・交流拠点を充実させ、環伊勢湾及び東海環状都市圏の経済社会活動の交流拡大を図ります
自然・歴史文化・産業などを活用した地域づくりをするとともに、情報発信の充実やもてなしの心を醸成することで、地域の魅力向上を図ります
美しい水辺環境や憩いの空間を形成し、河川や運河や沿川の歴史・文化資産、舟運等を活かした観光交流の拡大を図ります
河川空間を活かし、人と川がふれあえる野外活動や学習活動を通じた交流拡大を図ります

【ポイント】

自然・歴史文化・産業など多様な地域資源を有する中部
中部山岳など優れた観光資源とともに、地域資源を活かした交流拡大が期待されています

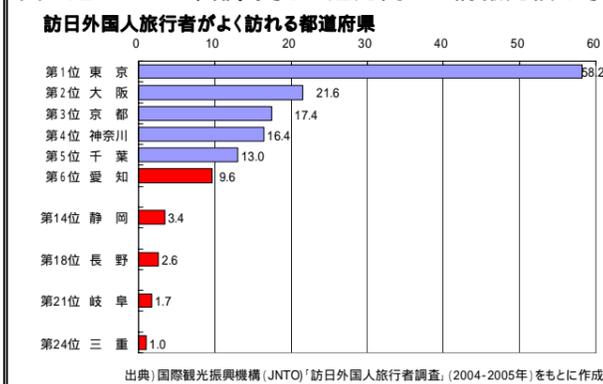


日本のまんなか位置し、中部国際空港など広域的な交流に資する交流基盤を持つ中部
今後はこれらの交流基盤を活かして国内外の交流拡大に寄与することが期待されています。

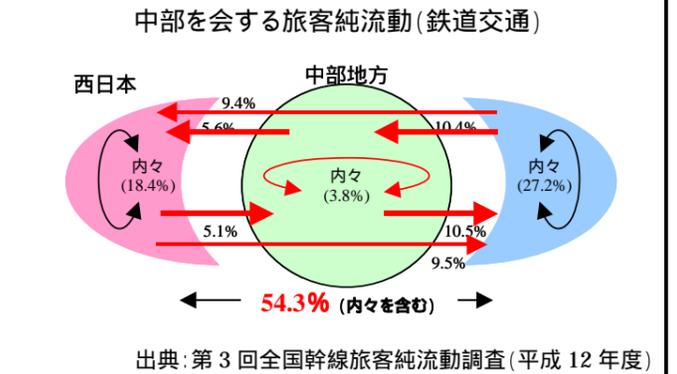


出典：中部運輸局資料

海外からの交流人口獲得に向けて魅力向上が課題
豊富な地域資源や交流基盤を有しながらも、現状では海外誘客の面で遅れをとる中部。更なる魅力向上と情報発信が求められます



国内の旅客流動を支える大動脈が中部を横断
鉄道における国内旅客流動の半分は、中部地方を介した東西方向の流動であり、中部地方は交流の要衝に位置しています



多様なライフスタイル・都市と地方など地域の特色を活かした暮らし・生活環境を実現する中部



(解説文)
人口減少社会の到来、社会経済の成熟化に伴って、人々が求めるライフスタイルは多様化し、また、少子高齢化に伴い子育てしやすい環境、高齢者が生き生きと暮らせる環境づくりが求められています。このため、人口減少・少子高齢社会に対応した多様なライフスタイルを実現できる地域づくりを進めるとともに、都市・農山漁村地域等地域の特色に応じた生活基盤の充実を図り、豊かで健康的な暮らしを実現できる中部を目指します。また、中部に暮らす人々の地域に対する誇りや愛着を育み、共に創る協働・参加型の地域づくりを目指します。

【私たちの目指すべき地域像】

- 多様なライフスタイルを実現することが可能な地域
- 誇りと愛着を持ってまちづくり等に参加できる地域
- 誰もがどこでも快適に暮らすことのできる地域

目標 人口減少・少子高齢社会及び多様なライフスタイルに対応した豊かな暮らしを実現します

- 子育てしやすい住環境・地域づくりを推進します
- 二地域居住・UJI ターン を促進するため、田舎暮らしを支える地域プラットフォーム・都市とのネットワークを整備します
- 人口減少・少子高齢社会に対応したまちづくりを推進します

目標 住宅・住環境の質を高め、安全で健康な暮らしを実現します

- 生き生きとした少子高齢社会を支える住環境を形成するとともに、住宅ストックを有効活用し、住宅・住環境の質的向上を図ります
- 住宅の耐震化など、安全性に優れた住宅ストックの形成を図ります
- 健康で快適に暮らすことのできる住宅の普及を促進します
- ライフスタイルの変化に対応し、それぞれのニーズに見合った住まいを多様な選択肢の中から安心して選べる住宅取得環境を整備します

目標 ユニバーサルデザイン が実感できる社会を実現します

- 官公庁舎、都市公園、街路等公共施設へのユニバーサルデザインの導入を推進します
- 交通結節点において、高齢者等の誰もが使いやすく移動しやすいユニバーサルデザインの導入を図ります
- 外国人にもわかりやすい案内情報の提供を推進します

目標 交通事故・犯罪による不安の解消を目指して安心して暮らせる生活環境を形成します

- 交通安全対策の推進や、事故危険箇所の対策など事故等の未然防止と被害軽減を図ります
- 歩行者優先の道づくりや防犯対策など、誰もが安心して歩行できる安全な歩行空間を形成します
- 地域と連携し、高齢者や子供等交通弱者が安心して利用できるコミュニティゾーン の形成を図ります
- 自主防災組織など多様な主体による防犯まちづくりの推進や通学路の安全確保を図ります

目標 公共交通機関の利便性を向上します

- 自家用車を利用しなくても誰もが快適に移動できる公共交通輸送環境の向上を図ります
- コミュニティバス や乗合タクシーなど地域の特色にあった公共交通体系を確立します
- 高齢社会に対応し、高齢者がいつでもどこへでも安価に利用できる新たな輸送サービスの導入を推進します
- 鉄道とバスの乗り継ぎ負担を解消に努めます

目標 コピキタスネットワーク 社会に対応した情報提供を進めます

- ITS を活用し、歩行者のだれもが、いつでもどこからでも情報を入手でき、自律移動が出来る環境づくりを推進します
- いつでも、どこでも、誰もが必要な情報を受発信できる情報通信環境を整えるとともに、産業活動を高度化・迅速化する情報通信環境の整備・活用を図ります
- 河川・流域及び交通に関する情報など、暮らしに役立つ情報がいつでも身近なところで気軽に入手できるよう情報提供を行います

目標 誇りや愛着を持てる協働・参加型の地域づくりを支援します

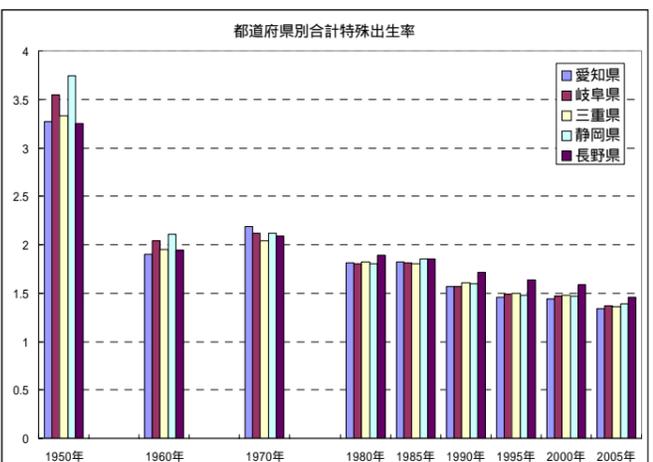
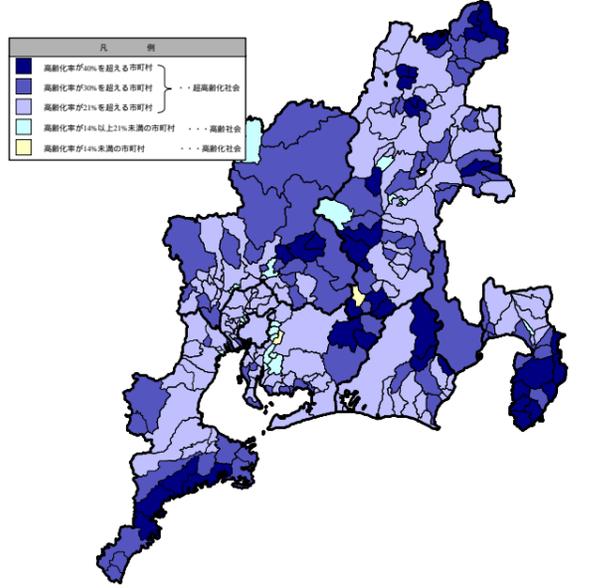
- 地域に誇りや愛着がもてるよう、エクスカージョン などの体験型学習や、自然教育等を通じて、国土マインド の育成を図ります
- 地域住民の主体的な活動を支援して地域コミュニティの醸成・活性化を図るとともに、住民参加型のまちづくりや水辺・海づくりを促進し、参加協働による地域づくりを促進します
- NPO、地域住民、企業など様々な主体による「新たな公」との連携を強化し、地域主体による地域づくりを促進します

【ポイント】

少子化が進む中部
中部各県の合計特殊出生率は減少の一途を辿っており、人口減少に歯止めがかからない状況となっています

本格的な高齢社会を迎える中部
超高齢化社会(高齢化率 21%以上)となる市町村が 9 割を超え、農山漁村地域では高齢化率が 30%を超えるなど高齢化が著しい状況になると予測されます

2025 年における中部地方の高齢化の状況(推計結果)

出典:厚生労働省資料より作成

参考資料

1.人口減少・少子高齢化に対応する地域構造-----	10
2.グローバル化・東アジアの経済発展に対応し中部の産業競争力を強化する地域構造-----	11
3.巨大地震・洪水等の大規模災害に対応する地域構造-----	12
4.環境万博の理念を継承し、環境先進地域を構築するための地域構造-----	13
5.国内外交流の拡大に寄与する地域構造-----	14
6.成熟社会に対応した多様なライフスタイルを実現する地域構造-----	15
7.水・エネルギー・食糧問題に対応する地域構造-----	16
8.情報化社会の変化に対応した地域構造-----	17
9.急増するインフラメンテナンス費用・「荒廃する中部」としないための地域構造-----	18

1.人口減少・少子高齢化に対応する地域構造

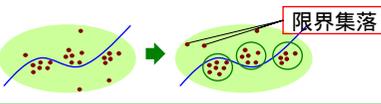
中部地方においても今後人口減少に転ずる中で、少子高齢化が着実に進行しており、子どもを生き育てやすい地域づくりや高齢者が生き生きと暮らせる地域づくりが求められています。こうした中で、特に中山間地域では、都市と一体となった中山間地の保全に取り組み、健全な国土を維持していくことが重要です。

人口減少に対応した地域構造

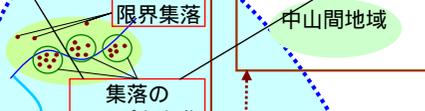
- 都市と一体となった中山間地の保全
- 都市と中山間地域等をつなぐネットワークの形成
 - 【交流】目標 及び【環境・景観】目標 に対応
- 都市と一体となった流域及び水源地域の保全 } 【環境・景観】目標 に対応
- 中山間地域の生活環境の維持
- 二地域居住・Uターン等の促進 【暮らし】目標 に対応
- 農山漁村地域の観光・交流資源の発掘・活用 【交流】目標 に対応

農村地域の集落のコンパクト化

人口の減少に伴い、農村地域内で散在している集落を適正な規模となるようコンパクト化を図る必要がある



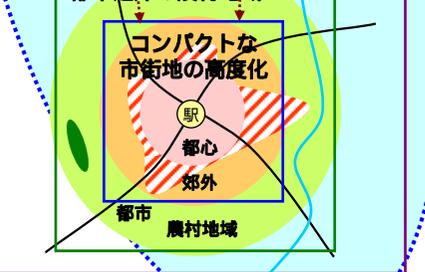
中山間地域



都市圏

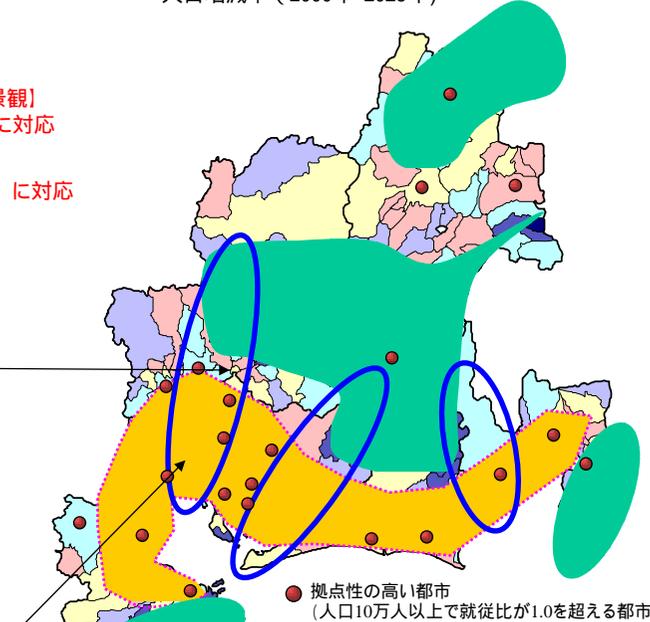
流域圏が一体となった中山間地域保全の促進

都市近郊の農村地域



- 二地域居住を実現するネットワークの形成
- コンパクト化された集落の維持を促進するネットワークの形成

ベースマップ：
人口増減率（2000年-2025年）



凡例	
人口が増加する市町村	人口減少率が 20 ~ 30%
人口減少率が 10%以下	人口減少率が 30 ~ 40%
人口減少率が 10 ~ 20%	人口減少率が 40%以上

出典：日本統計協会「市区町村人口の長期系列」

都市・産業集積を活かした産業競争力の強化

- 空港・港湾の物流機能の強化 【産業競争力】目標 に対応
- 国際水準の道路交通ネットワークの形成 【産業競争力】目標 に対応
- 既存ストックを徹底活用した陸・海・空が一体となった高度な物流システムの構築 【産業競争力】目標 に対応
- 人口減少下においても高い生産性・創造性を発揮する高度な都市機能集積の形成 【交流】目標 に対応
- 都市活力を最大限に引き出す戦略的な成長基盤の整備 【交流】目標 に対応

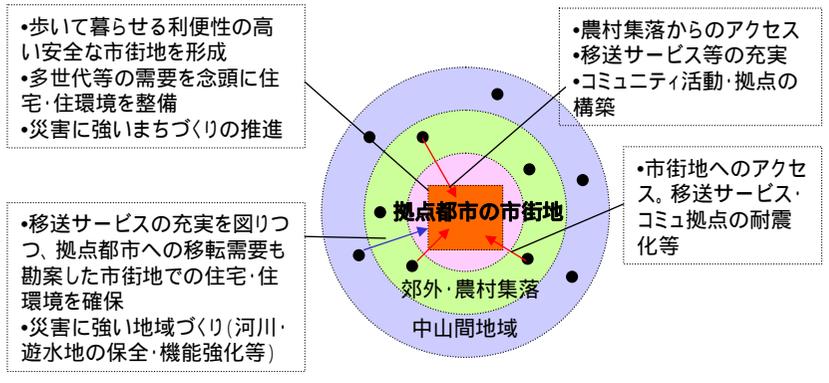


出典：中部地方整備局資料、財団法人 中部産業活性化センター「中部の産業観光100選ガイド2004-」

少子高齢化に対応した地域構造

- 高齡化への対応
- 地域特性や高齢者に配慮した公共交通や新たな輸送サービスの実現 【暮らし】目標 に対応
- 公共空間や交通結節点におけるユニバーサルデザイン の導入 【暮らし】目標 に対応
- 事故危険箇所の解消、安全な歩行空間の形成 【暮らし】目標 に対応

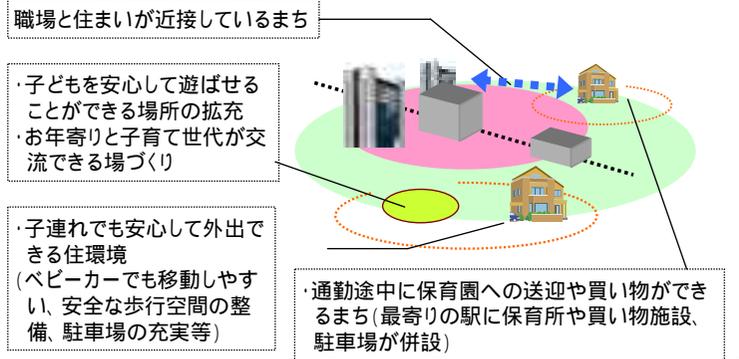
高齡化に対応した地域構造の例(中山間地域の拠点的な都市の例)



少子化への対応

- 子育てしやすい住環境の創出
- 職住近接したまちの形成 } 【暮らし】目標 に対応
- 公共空間や交通結節点におけるユニバーサルデザインの導入 【暮らし】目標 に対応
- 事故危険箇所の解消、安全な歩行空間の形成 【暮らし】目標 に対応
- 地域と連携した安全なコミュニティゾーンの形成 【暮らし】目標 に対応

少子化に対応したまちづくりの例



2. グローバル化・東アジアの経済発展に対応し中部の産業競争力を強化する地域構造

中部は、ものづくり産業など全国規模で展開される国内物流の中心地として、陸・海・空が一体となった効率的な物流体系の構築、わが国大動脈である東西軸を維持強化するとともに、高度、かつ、先端的な産業の集積を活かして、我が国の経済発展に寄与する国際水準の競争基盤を整備し、産業競争力の更なる強化を目指します。

北陸地域との連携

- ・北陸地域との連携によって、北東アジア戦略を見据えた産業面の物流機能を強化
- ・中部地域の産業インフラを活用した北陸地域との互惠関係の更なる深化
(産業競争力)目標 に対応



全国の生産拠点と円滑に直結

- 中部のものづくりは、全国の生産拠点と物流面で直結。
- モーダルシフト等も含めた円滑な中部を核とした物流体系の構築と拠点性の向上
(産業競争力)目標 に対応



国際水準の交通ネットワーク

- ・ものづくり産業集積地等から空港・港湾に直結する国際水準の道路交通ネットワークの形成
- ・迅速・低廉、かつ、安定した交通体系の高度化
(産業競争力)目標 に対応

水資源の安定供給

- ・中部のものづくり産業を支える水資源を安定に供給するため利水機能・導水機能を強化
(産業競争力)目標 に対応



出典：独立行政法人水資源機構HP



自動車産業等モノづくり産業の一大集積地の物流効率化

- 東アジアの経済発展、FTA・EPA等の地域経済圏形成の動向を見据えて、産業集積地・都市内物流の効率化、陸・海・空一体となった高度な物流システムの構築
(産業競争力)目標 に対応



国際ゲートウェイ機能の強化・国際物流のシームレス化

- 東アジアの経済発展を取りこむため
- 空港・港湾等における国際物流ゲートウェイ機能の更なる強化
(産業競争力)目標 に対応

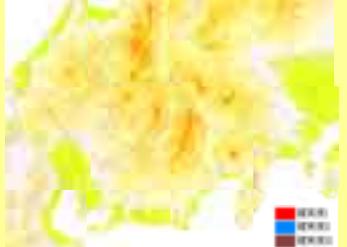
出典：中部地方整備局資料、財団法人中部産業活性化センター「中部の産業観光100選ガイド2004-2005」、産業オアシス愛知、静岡県HP

3.巨大地震・洪水等の大規模災害に対応する地域構造

東海・東南海・南海地震等の巨大地震による災害や、集中豪雨や高潮による大規模な水害等の発生が懸念されている中部は、東西交通の要衝・国土の東西軸と南北軸が交差する地域であり、社会経済活動が麻痺しない社会基盤づくりが求められます。

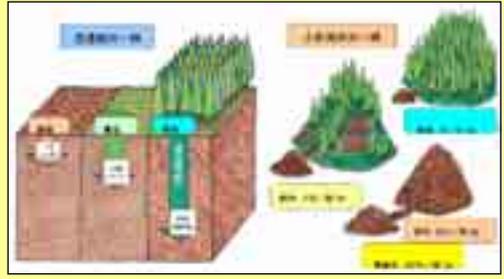
また、山地部での土石流、地すべりの発生、上流部でのダムへの堆砂の進行による洪水調節等の機能の低下、下流部の河床低下と海岸侵食の進行等については、山から海までのつながりを踏まえた総合的な対策が必要です。

中部の活断層
 中部は多くの活断層を有する事が地形学、地質学の研究により明らかにされており、地震が起きやすく、もろい地質構造となっています。



出典：NPO法人 大気イオン地震予測研究会 (http://www.e-pisco.jp/)

森林の保水能力
 山林の荒廃は保水能力の低下をまねき、土砂災害、土石流の発生を引き起こします。



出典：林野庁資料



岐阜県揖斐川町 東横山地内地すべり (平成18年6月12日)

・森林の荒廃を抑制するための水源地、国土の保全 (安全・安心) 目標 に対応



国道20号冠水 (平成18年7月19日～20日)

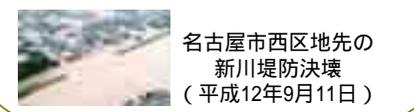


天竜川上流堤防決壊 (平成18年7月19日)



国道152号被災状況 (平成18年9月4日)

ゼロメートル地帯における浸水被害への対策が必要な地域
 ・洪水・高潮の被害の最小化
 ・氾濫域での減災対策 (安全・安心) 目標、目標 に対応



名古屋市西区地先の新川堤防決壊 (平成12年9月11日)

日本有数の多雨地域への対応

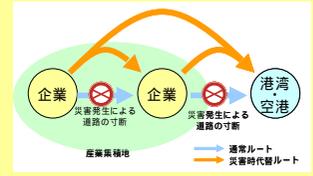


国道42号被災状況 (平成16年9月29日)

企業のBCP (事業継続計画)を支えるインフラのあり方
 災害発生時の企業の事業活動が維持できるよう、企業のBCP等とマッチングしたインフラの早期復旧及び代替機能を確保しておく必要があります。

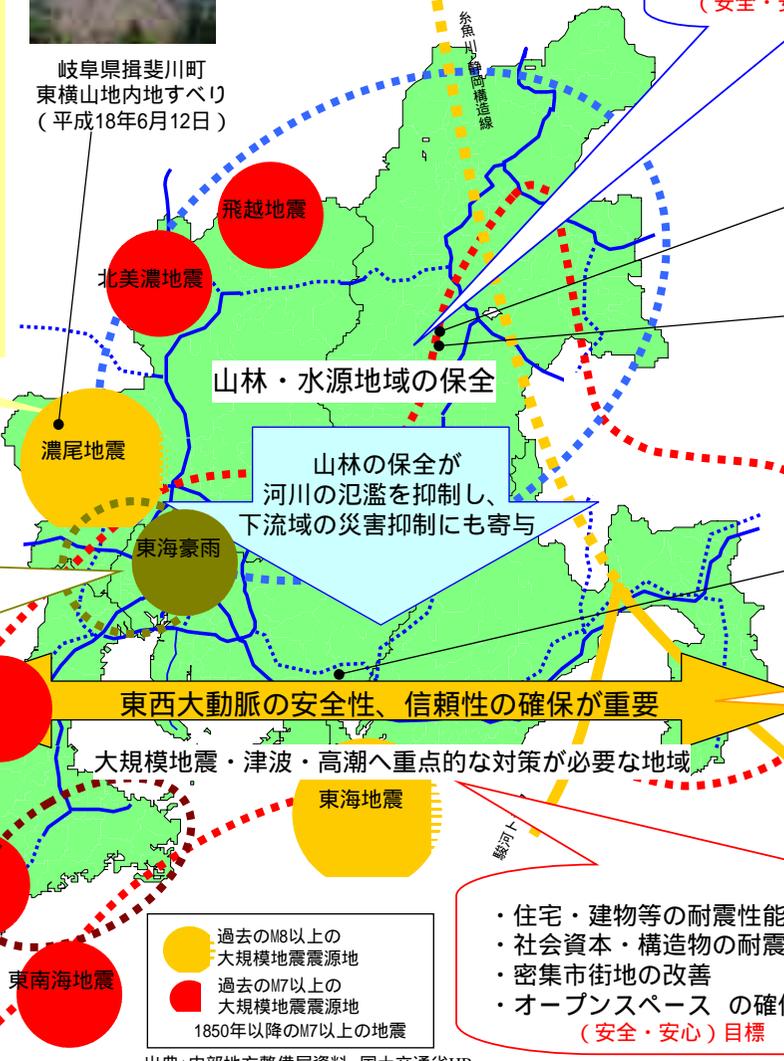


出典：国土交通省HP



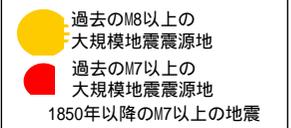
BCPを支援するためのインフラのイメージ

新潟県中越地震発生時、寸断した関越道に代わり、迂回路として利用された高速道路ネットワーク



東西大動脈の安全性、信頼性の確保が重要

大規模地震・津波・高潮へ重点的な対策が必要な地域



出典：中部地方整備局資料、国土交通省HP、国立天文台編「理科年表平成16年度版」

・東西大動脈の安全性・信頼性の確保 (安全・安心) 目標 に対応

・住宅・建物等の耐震性能の強化
 ・社会資本・構造物の耐震化
 ・密集市街地の改善
 ・オープンスペースの確保
 ・安全な道路ネットワークの形成
 ・高潮・津波・水害対策
 ・海上輸送路の確保 (安全・安心) 目標 に対応

・防災上の危険性を解消し、安全で質の高い都市・地域生活の実現
 ・豪雨・高潮等による水害、土砂災害に対する安全性の確保 (安全・安心) 目標、目標 に対応

・災害発生時の円滑な避難誘導・救助活動とその後の復旧・復興体制の強化 (安全・安心) 目標 に対応

4.環境万博の理念を継承し、環境先進地域を構築するための地域構造

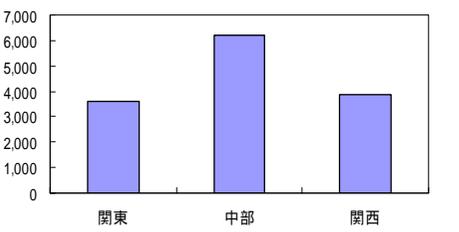
多様かつ複雑化する環境問題に対し、我々の生活・産業と環境のバランスを取り戻すため、中部地方は、環境万博の理念を継承し、全国のモデルとなる環境先進地域を構築することが重要です。

そのため、都市・産業拠点周辺における交通流対策・物流効率化、沿道環境の改善等を進めていく必要があります。また、ごみ問題の解決に向けて3R（ごみの発生抑制、再利用、再生利用）に取り組むとともに、伊勢湾・三河湾等の閉鎖性水域における水循環機能の再生を進めていきます。



運輸部門の温室効果ガスの排出削減に向けて、道路渋滞の解消等交通流対策、物流の効率化、公共交通機関の利用促進等を強化する必要があります。

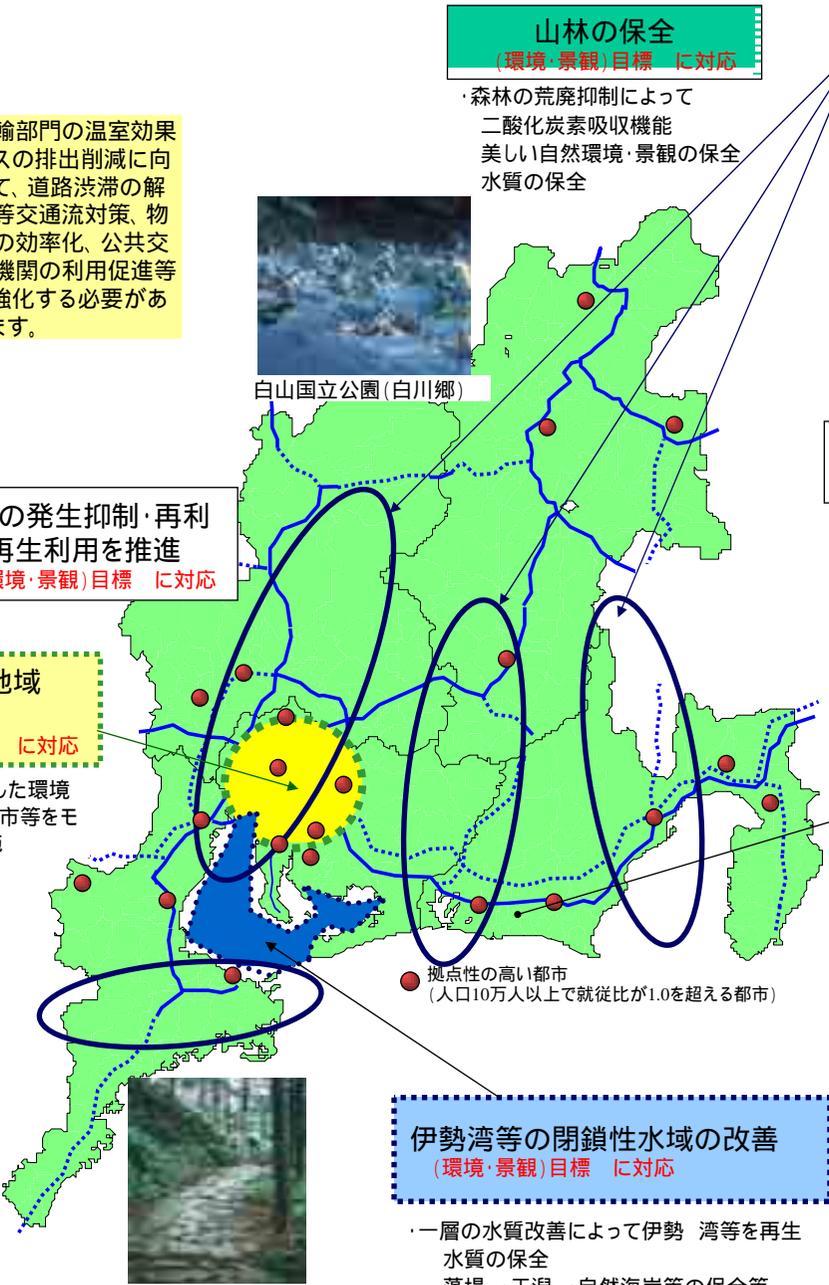
出典：平成18年度 環境白書
地球温暖化防止に貢献する中部の森林



出典：「京都議定書運用ルールに基づく『各県別森林のCO2吸収量と評価額』」（岐阜県林政部林政課）



出典：豊田市HP



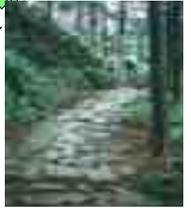
山林の保全
(環境・景観)目標 に対応
・森林の荒廃抑制によって二酸化炭素吸収機能
美しい自然環境・景観の保全
水質の保全



白山国立公園(白川郷)

ごみの発生抑制・再利用・再生利用を推進
(環境・景観)目標 に対応

環境交通先進地域の形成
(環境・景観)目標 に対応
・ITS等を積極導入した環境交通先進地域を豊田市等をモデル都市として実施



吉野熊野国立公園(熊野古道)

伊勢湾等の閉鎖性水域の改善
(環境・景観)目標 に対応
・一層の水質改善によって伊勢湾等を再生
水質の保全
藻場・干潟・自然海岸等の保全等

出典：中部地方整備局HP

上下流域が一体となった取り組み
(環境・景観)目標 に対応

・都市と中山間地域が一体となって流域の保全に取り組むことによって中山間地域の生活環境の維持
水質の保全
海岸侵食の顕在化



美しい景観の保全・形成
(環境・景観)目標 に対応



三保の松原の景観保全

出典：中部地方整備局資料

拠点都市・産業拠点等の集積地域
(環境・景観)目標 に対応

・拠点都市等の交通流の円滑化を進め、円滑な道路ネットワークの形成
TDM等交通需要対策・ITSの積極導入等を行いCO2排出削減、沿道環境改善に取り組む、
また、産業拠点等の物流の効率化としてモーダルシフト・自動車輸送の効率化
グリーン物流の実現に向けた取り組みが必要です。

伊勢湾再生推進会議

【今後の取り組み】
平成18年度中「伊勢湾再生推進行動計画(仮称)」の策定
平成19年度以降「行動計画」のフォローアップ
目標：平成29年度「行動計画」の最終取りまとめと今後の方針

5.国内外交流の拡大に寄与する地域構造

日本のまんなかである優位性を活かし、国土の東西・南北軸の結節点である中部は、国内外交流の拡大に貢献する気運が高まっています。こうした中で、中部の有する豊かな自然環境、歴史文化、産業などの地域資源を活かした地域づくりを進める必要があります。

既存観光エリアの高度化(おもてなし向上等)

[交流]目標 に対応

- 観光地の顔として整備
- 来訪者の目線に立った案内表示の充実(外国語併記も)

- 観光地ごとの特色を活かした役割分担と連携
- 観光地間を結ぶネットワークの拡充(回遊性・代替性の確保)
- 海路の活用など新たな視点による周遊ルートづくり

- 遊休農地の活用した農業体験などメニューの充実、受入体制の整備

- 交通施設や歩行空間などのバリアフリー化

- 観光地における2次交通の確保

- 川など親水空間の整備
- 街並みなど美しい景観形成

広域的な観光交流圏の形成

- 中山間地域・農山漁村地域の交流資源の発掘・活用
- 都市と中山間地域・農山漁村地域をつなぐネットワークの形成

[交流]目標 及び に対応

観光エリア相互の連携強化により広域的な観光交流拡大を図る

都市機能の高度化

世界都市・名古屋



国際都市の魅力向上

[交流]目標 に対応

拠点都市



拠点都市の都市再生を推進し、都市活力を発揮できる基盤を整備

[交流]目標 に対応

地方都市



中心市街地活性化等地域の自立を促す基盤を整備

[交流]目標 に対応

出典：中部地方整備局資料、岐阜駅西地区市街地再開発組合HP、飯田市HP

近畿圏 東西大動脈の交流拡大に貢献 他圏域との連携 [交流]目標 に対応



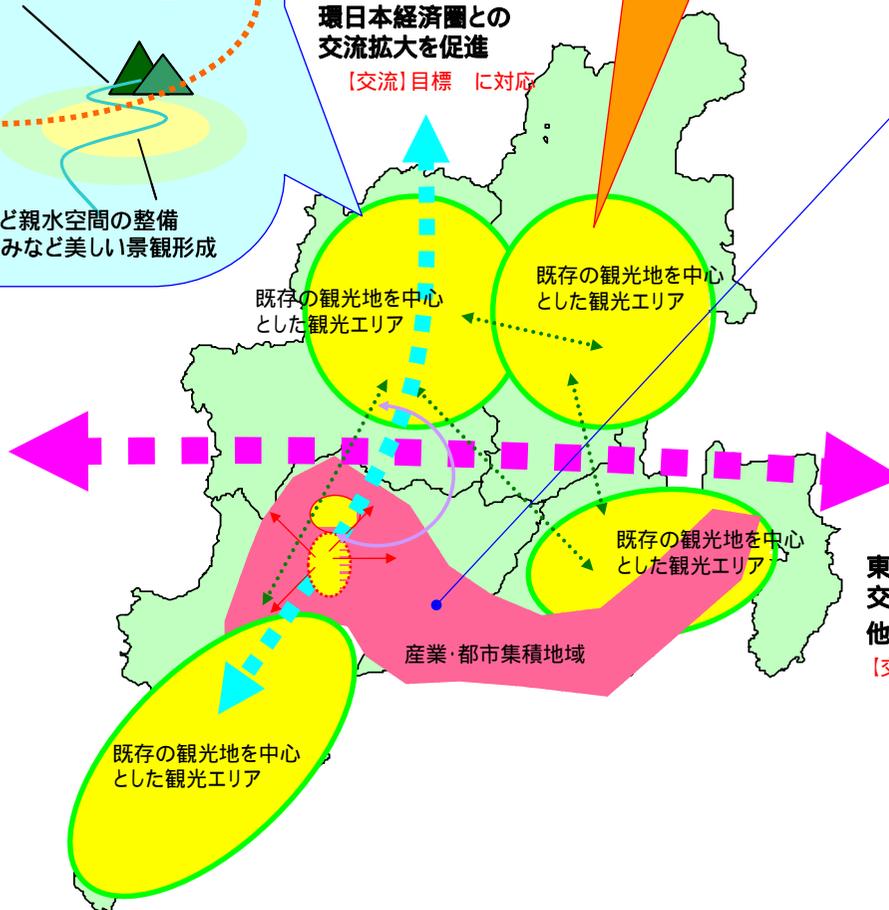
交流基盤を活用した国内外交流の拡大

[交流]目標 に対応

出典：中部地方整備局HP、中部地方整備局資料

北陸 南北軸を活かし、環日本経済圏との交流拡大を促進 [交流]目標 に対応

首都圏 東西大動脈の交流拡大に貢献 他圏域との連携 [交流]目標 に対応



中部の観光ポータルサイト (外国人旅行者向けHP)

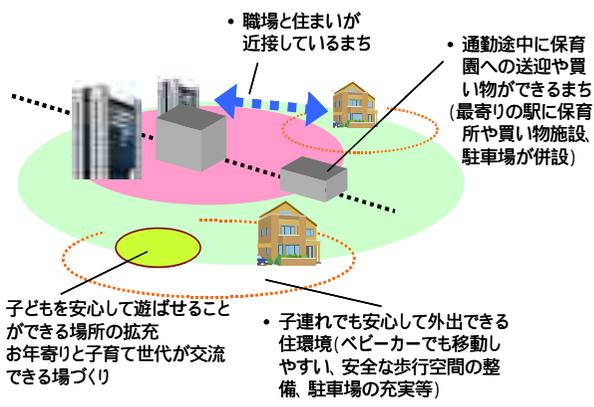


[交流]目標 に対応

6.成熟社会に対応した多様なライフスタイルを実現する地域構造

人口減少社会の到来・少子高齢化の進行・女性の社会進出により、子育てしやすい環境・高齢者が安全で生き生きと暮らせる環境づくりが求められます。また、成熟社会に対応した多様なライフスタイルを実現し、地域に対する誇りや愛着が育まれ、共に創る協働・参加型の地域づくりも目指していく必要があります。

少子化に対応した職住近接した環境整備の推進
 子育てを支援するため、職住近接のゆとりある居住環境の整備を推進していきます。



(暮らし)目標、目標、目標 に対応

質の高い住宅ストック・居住環境を形成
 住宅性能評価 の導入等により安全安心で良質な住宅ストック・居住環境を形成します



出典：中部地方整備局建設部資料 (暮らし)目標 に対応

ユニバーサルデザインに対応した社会の実現
 交通空白地域の解消等に向け、コミュニティバスなどを導入し、誰もが移動しやすい地域を形成します。



バスという移動手段(文明)が、生活にとけ込んだ「下町まちのバス(文化)」へと飛躍するような鈴鹿方式のコミュニティバスをめざして



出典：鈴鹿市

(暮らし)目標、目標 に対応

地域の誇り・国土マインド の育成

アダプトプログラム、エクスカッションなど、住民が参加する機会を設け、総合学習支援を行う事により、地域を誇れるような機会を支援し、国土マインドを醸成します。

総合学習支援
 社会資本を通して、子供たちや教師、保護者へ対する総合学習の支援を行います。



出典：国土交通省HP

アダプトプログラム
 ボランティアなどによる自発的な活動により、地域の公共スペースを美化・保全します



出典：静岡県HP

エクスカッション
 参加者が実際に体験や議論をする体験型の見学会を通じて、地元への愛着心の醸成を図ります。



参加してみよう



ガイドさんに聞いてみよう



一緒に考えよう

出典：中部地方整備局HP (暮らし)目標 に対応

7.水・エネルギー・食糧問題に対応する地域構造

世界的な人口の急増やエネルギー需要の増大、食糧危機の深刻化が進む中で、中部は工業・農業等の生産活動を支える水資源の安定供給に向けて、ダム等の水資源開発施設の建設、水源の複数化、既存施設の有効活用、水の反復利用の強化、節水意識の向上等が求められています。
 また、自然エネルギーをはじめとした新エネルギー等の有効活用を推進することが求められています。

中山間地域の保全

- ・森林・農地の適切な保全
- ・森林管理等を担う中山間地域の生活環境の維持
- ・都市と一体となった流域及び水源地域の保全

【環境・景観】目標
 【安全・安心】目標 に対応



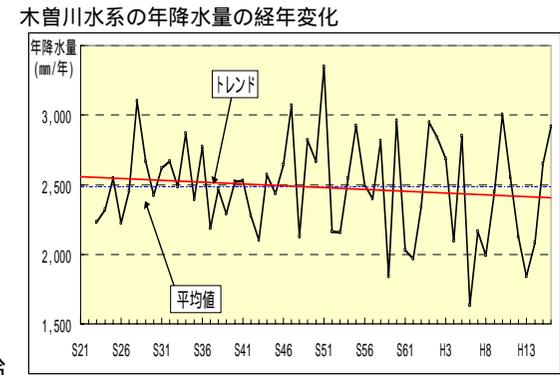
出典：東海農政局HP、愛知県HP

安定的な食糧供給を支える

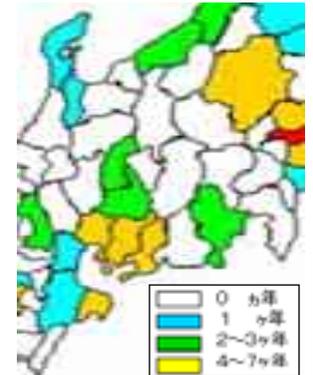
水源地域の保全と水資源開発施設の強化

- ・水源地域の森林保全
- ・都市と一体となった流域及び水源地域の保全
- ・安定的な水供給に資する水資源開発施設の強化

【安全・安心】目標
 【産業競争力】目標 に対応



最近20ヵ年で渇水の発生した状況



1985～2004年の間で、上水道について減断水があった年数を図示したもの
 出典：日本の水資源資料をもとに作成

安定的な水供給を支える



国内各地へ工業製品・部品を供給

都市への安定的な水供給をおこなう水源地域

国内各地へ工業製品・部品を供給

関西圏大消費地

関東圏大消費地

空港・港湾

農産物を介して水消費を負担
 [中部の水資源 農産物 国内消費地へ]

農産物を介して水消費を負担
 [中部の水資源 農産物 国内消費地へ]



工業製品を介して水消費を負担
 [中部の水資源 工業製品 国内外へ]

新エネルギーの積極導入

- ・自然エネルギーの有効活用 (バイオマス ガス、太陽光、風力等の有効活用)
- ・クリーンエネルギー・低公害車の普及促進 (燃料電池技術等の積極導入)

【環境・景観】目標 に対応

エネルギー供給の安定化を図る

風力発電



太陽光発電



木質バイオマス発電



燃料電池車等の開発・普及促進



出典：財団法人中部産業活性化センター「中部の産業観光100選ガイド2004-2005」中部経済産業局HP、青山ウインドファーム

8.情報化社会の変化に対応した地域構造

高度情報化社会において、今後はユビキタスネットワークの形成に向け、さらなるインフラの整備や、ITSなどを活用し環境問題への対応、防災時の情報提供などに応用できるシステムの構築が求められます。

ユビキタスネットワークの整備
 誰もがどこでも簡単に必要な情報を得られるように、情報通信技術を活用したネットワークを構築していきます。



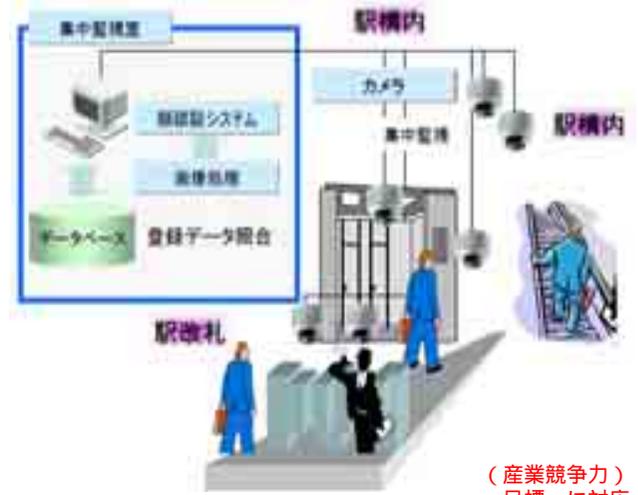
出典：国土交通省HP (暮らし) 目標 に対応

情報インフラ過疎地での災害・医療ICTの整備
 情報インフラ過疎地においても、災害時、緊急時にICTを活用し、関係機関が連携した対応を行います。



出典：総務省HP (安全・安心) 目標 (暮らし) 目標 に対応

テロ対策に向けた取組み
 空港、港湾、鉄道駅等、公共交通施設でのテロ対策として、情報通信技術を活用したセキュリティシステムを構築していく必要があります。



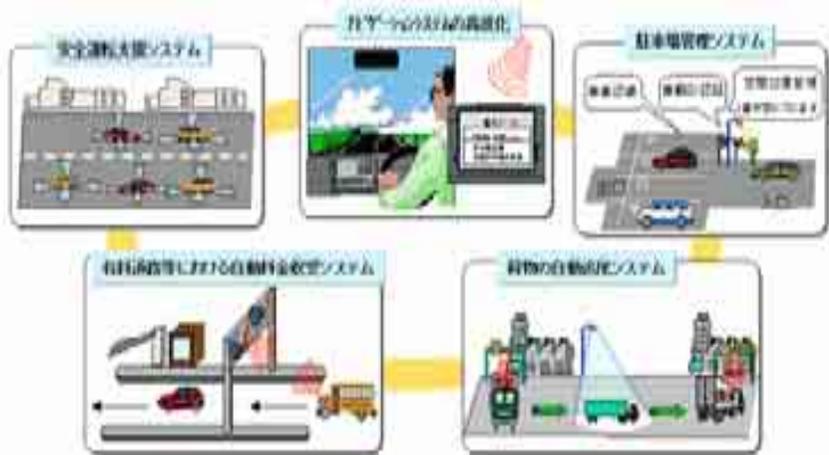
(産業競争力) 目標 に対応
 顔認証システムを用いた地下鉄セキュリティ実証実験
 出典：国土交通省鉄道局HP

災害時の情報提供
 災害発生時に不足する災害情報や交通情報を、正確に広く周知できる情報通信システムの形成を、ハード・ソフトの両面から行っていきます。



災害時情報電子掲示板
 出典：ITSスマートモール検討会資料 (安全・安心) 目標 に対応

ITSの活用による環境対策
 道路交通情報、駐車場情報を運転者に提供し、円滑な交通誘導を行い、都市の環境問題を引き起こす交通渋滞の発生を抑制します。



出典：東海総合通信局資料 (環境・景観) 目標 、目標 に対応

3PL事業による物流最適化による環境対策
 情報通信技術を活用した3PL事業による効率的な物流システムを構築し、輸送形態を是正する事で、運輸部門全体の排出ガス削減を目指します。



(産業競争力) 目標 、目標 に対応

9.急増するインフラメンテナンス費用・「荒廃する中部」としないための地域構造

アメリカでは1930年代、ニューディール政策によって建設された道路施設は、'80年代のアメリカ経済の停滞により、維持管理が行き届かず、橋梁の崩落等が発生し、「荒廃するアメリカ」と呼ばれる状況を招きました。
 中部地方においても、高度経済成長時代に大量の社会資本が整備されており、「荒廃する中部」とならない対策が必要となっています。

10年後には「荒廃するアメリカ」以上の高齢化

日本の道路ストックの状況は、1980年代の「荒廃するアメリカ」と呼ばれた状況に近づきつつあり、10年後には当時のアメリカを上回る道路ストックの高齢化が進み、既に高齢時代の過半数にある。

実況値40年以上の橋梁の割合(連続式)

実況値40年以上の橋梁の割合(連続式)

「荒廃するアメリカ」の教訓

「荒廃するアメリカ」の教訓

① 橋梁の点検・補修の徹底
 ② 橋梁の更新・交換の徹底
 ③ 橋梁の耐震性の向上
 ④ 橋梁の耐風性の向上
 ⑤ 橋梁の耐塩害性の向上

減額・更新費用の試算 → 橋梁を例として

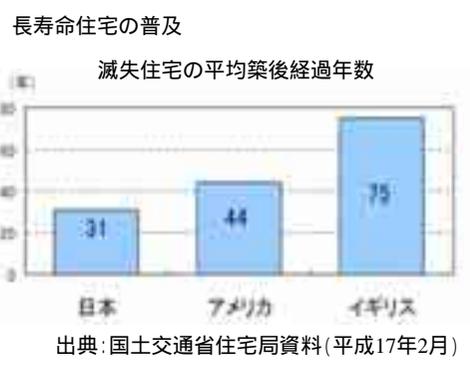
従来の考え方

- 対象橋梁的に補修を実施。
- 更新は、建設後10～15年で実施。

今後の考え方

- 管理の高度化により予防的補修を実施。
- 更新は、
 ・既設橋については建設後40～100年で実施。
 ・今後新設する橋梁については、100年間は不要。

出典:国土交通省資料



港湾施設の適切な維持管理
 【係船施設(橋梁式)の劣化】

写真:エフエムのひび割れ

写真:PCRの劣化

写真:鋼材の腐食

出典:国土交通省港湾局資料

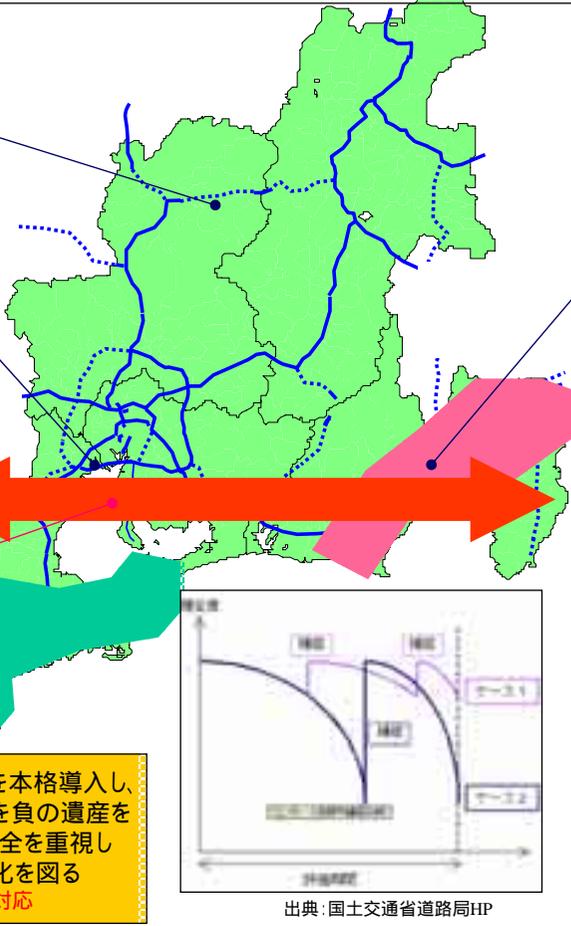
国土を荒廃させないためにも中山間地域等におけるトンネル、橋梁等の構造物を計画的に維持管理
 (安全・安心)目標 に対応

定期点検の徹底・適切な補修

出典:福島県道路管理計画(基本計画)

我が国・国土の大動脈に位置する地域の社会資本の計画的な維持管理
 (安全・安心)目標 に対応

アセットマネジメント を本格導入し、莫大な維持管理費用を負の遺産をしないためにも予防保全を重視して社会資本の長寿命化を図る
 (安全・安心)目標 に対応



予防保全による社会資本の長寿命化

出典:東京都建設局HP

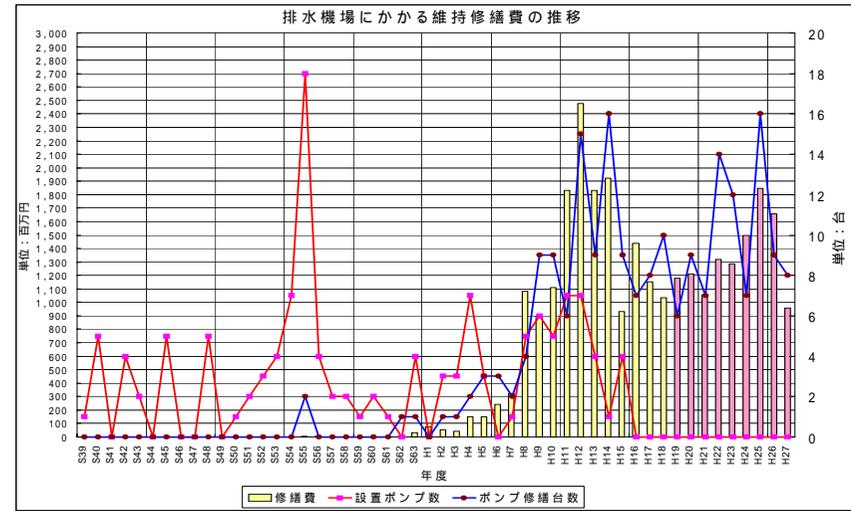


ダムの適切な浚渫



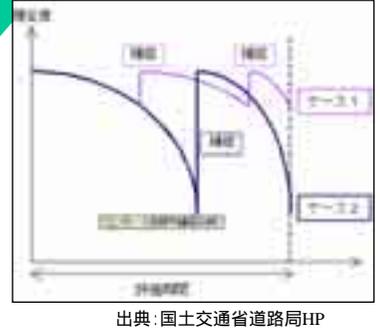
下水道管の老朽対策

出典:国土交通省HP、国土交通白書



海岸の保全

出典:国土交通省河川局HP



語句の解説

【**お行**】

アセットマネジメント

アセットマネジメント (asset management) 道路の舗装、橋梁、トンネルなどの構造物を社会資本整備における資産と捉え、その損傷や劣化等を将来に渡り把握することで、最も費用対効果の高い維持管理を行うこと。

アフターコンベンション

アフターコンベンション (after convention) 観光や宿泊等、イベントやコンベンションで訪れた人のアフタータイムやリラクゼーション。

新たな公

行政だけでなく多様な民間主体を地域づくりの担い手と捉え、これら民間主体と行政の協働によって、従来の公の領域に加え、公と私との中間的な領域に活動を広げ、サービスを提供するという概念。

エクスカーション

エクスカーション (excursion) 従来の見学会や説明を受けるタイプの視察とは異なり、訪れた場所で案内人の解説に耳を傾けながら参加者も意見を交わし、地域の自然や歴史、文化など、さまざまな学術的内容で専門家の解説を聞くと共に、参加者も現地での体験や議論を行い、理解を深めていく「体験型の見学会」のこと

エコエアポート

エコエアポート (eco aiaport) 空港及び空港周辺において環境の保全と良好な環境の創造を進める対策を実施している空港

環境共生住宅

グリーン物流

【**か行**】

環境共生住宅

地球温暖化防止等の地球環境保全を促進する観点から、地域の特性に応じ、エネルギー・資源・廃棄物等の面で適切な配慮がなされるとともに、周辺環境と調和し、健康で快適に生活できるよう工夫された住宅及び住環境のこと

グリーン物流

温室効果ガスの排出削減を目指し、輸送・保管・荷捌きなどにおける物流の効率化への取り組みの総称。

健全な水循環系

健全な水循環系 流域を中心とした一連の水の流れの過程において、人間社会の営みと環境の保全に果たす水の機能が、適切なバランスの下に、ともに確保されている状態

公共工事の品質確保

公共工事の品質確保の促進に関する法律 価格と品質に優れた契約を公共工事の契約の基本に位置付け、この基本が守られるよう全ての発注者に対し

て、 個々の工事において入札に参加しようとする者の技術的能力の審査を実施しなければならないこと 民間の技術提案の活用
に努めること 民間の技術提案を有効に活用していくために必要な措置（技術提案をより良いものにするための対話、技術提案の審査に基づく予定価格の作成等）等について規定している。

合計特殊出生率

合計特殊出生率 1人の女子が生涯に生む子供の数を近似する指標。

高齢化率

高齢化率 総人口に占める 65 歳以上の高齢者人口の割合。

国土マインド

国土マインド 「まんなか懇談会ポスト万博宣言」にて提唱された、国土に愛着をもち、よりよい国土づくりをすすめようとするところ。

コミュニティゾーン

コミュニティゾーン (community zone) 住宅地において、歩行者の安全性・快適性・利便性の向上を図ることを目的として、車の走行速度を抑制させる仕掛けを設けるなど歩行者優先の生活道路を整備する地区のこと。

コミュニティバス

コミュニティバス (community bus) 地域の住民の利便向上等のため一定地域内を運行するバスで、車両仕様、運賃、ダイヤ、バス停位置等を工夫したバスサービス。

サプライチェーン

砂防堰堤

燃料電池

水素や酸素による化学反応により電力を得る装置。

熱帯気候

が個人や地域の取り組みを支援したり、「自助・共助」では解決できない大くくりの仕事のこと。

ジャストインタイム

ジャストインタイム (Just In Time) 経済効率を高めるための技術体系の一つで、必要な物を、必要な時に、必要なだけ適切に生産すること。

住宅性能評価

住宅性能評価 住宅を取得しようとする人が、性能の面から住宅を比較したり評価できるように、住宅の持つ性能を統一した基準に従って評価するもの。

静脈物流

静脈物流 一度最終消費者まで行き渡り不要となった製品や商品、産業廃棄物をリユース、リサイクルする目的で集荷し、再資源化拠点まで運搬すること。

二地域居住

都市住民が、本人や家族のニーズ等に応じて、多様なライフスタイルを実現するための手段の一つとして、農山漁村等の同一地域において、中長期(1~3ヶ月程度) 定期的・反復的に滞在すること等により、当該地域社会と一定の関係を持ちつつ、都市の住居に加えた生活拠点を持つこと。

燃料電池

水素や酸素による化学反応により電力を得る装置。

熱帯気候

有機物が堆積しやすく、渡り鳥にとっては、越冬地または渡りの中継地として重要な場となる。

閉鎖性水域

閉鎖性水域 湖沼や内湾など、周囲の大部分を陸地で囲まれた水域。水の出入りが少ないため、水質汚染が進みやすく改善しにくいといった特性を有する。

ボトルネック

ボトルネック (bottleneck) 交通の円滑な流れが、何らかの事象により妨げられて支障を来たしている状態を大瓶の首の形状に例えたもの。

マネジメントサイクル

管理サイクル。効果的な管理を行う為の階段。一般的には2つのマネジメントサイクルが有名である。

企画立案

実施

評価

計画

実施

確認

対策実行

対策実行

確認

実施

評価

企画立案

実施

確認

対策実行

語句の解説

【や行】

ユニバーサルデザイン（universal design）
障害者はもちろん誰もが使える、すべての人のための製品・建物・空間などに対するデザイン。

ユニバーサルデザイン政策大綱

21世紀の社会を支える社会資本・交通の整備について、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方を踏まえた国土交通行政を推進することを目的とし、国土交通行政の全分野について総点検を実施し、また、内外の有識者との討議を行うとともに、バリアフリーのあり方、公共交通の利用の円滑化及び自律移動支援プロジェクトの推進について、平成17年7月に国土交通省がまとめたもの。

ユビキタスネットワーク（ubiquitous network）
ネットワーク、アプリケーション、端末等がお互いに好循環を招き、いつでも、どこでも、何でも、誰でもがネットワークに接続され、情報の自在なやりとりを行うことのできる環境。

【ら行】

リードタイム（lead time）
輸入貨物が到着してから荷主が荷物を引き取るまでに要する時間。

流砂系
流域の源頭部から海岸までの一貫した土砂の運動領域。

3PL（3rd party logistics）
荷主から物流を一貫して請け負う高品質のサービスで、3PL事業者が荷主企業の物流システムを効率化することで荷主の物流コストを削減したり、物流システムの効率化により地球環境にやさしい物流を実現する新たな物流サービスのこと。

3R（リデュース、リユース、リサイクル）
2000年6月に「循環型社会基本法」の基本理念として提唱された。リデュース（廃棄物の排出抑制）、リユース（商品、部品としての再使用）、リサイクル（原材料としての再利用）のこと。

BCP（Business Continuity Plan）
災害発生時にも重要事業を中断せず、中断しても早期復旧させ、中断に伴う顧客取引の競合他社への流出、マーケットシェアの低下、企業評価の低下などから守るための企業の経営戦略。

CNG車
圧縮天然ガス（CNG）を燃料とする自動車のこと。CNG車は、ぜんそくなどの健康被害を及ぼすとされる粒子状物質を排出せず、窒素酸化物（Nox）、炭化水素（HC）などの排出量も従来のディーゼル車に比べて大幅に低減できることから低公害車として注目されている。

COD（Chemical Oxygen Demand）
化学的酸素要求量の事で、水質汚濁の指標の1つ。

ICT（Information and Communication Technology）
情報・通信に関連する技術一般の総称であり、IT（Information Technology）に加えて「コミュニケーション」が具体的に表現されている点に特徴がある。

ITS（Intelligent Transport Systems）
高度道路交通システム、最先端の情報通信技術を用いて、「人」「道路」「車両」を一体的なシステムとして構築する社会システム

IT新改革戦略 - いつでも、どこでも、誰でもITの恩恵を実感できる社会の実現 -
平成13年のe-Japan戦略、平成15年のe-Japan戦略IIに続くIT戦略として、平成18年1月に発表された戦略で、e-Japan戦略、e-Japan戦略IIでの成果や課題を総括するとともに、少子高齢化や安心・安全の確保といった社会的課題を解決するため、ITによる構造改革をどのように推進していくかを示し、2010年度に世界に先駆けITによる改革を完成させることを目標としている。

NPO（Non Profit Organization）
営利目的でない社会貢献活動を行う団体（民間非営利団体）をさす。平成10年に設立した特定非営利活動推進方（NPO法）は、非営利活動を行う団体に法人格を与え社会的に認知することで、非営利活動としての社会貢献活動の推進を目指している。

PFI（Private Finance Initiative）
公的部門による社会資本の整備運営に民間資本や経営ノウハウを導入し、民間主体で効率化を図ろうという政策手法のこと。

TDM（Transportation Demand Management）
交通需要マネジメント。車の利用の仕方や生活のくふうによって交通需要を調整し、交通混雑を緩和させる。

UJIターン
Uターン（出身地から転出し再度出身地に住む）、Jターン（出身地から転出し、出身地の近隣都市や街に住む）、Iターン（出身地に関係ない地域に住む）という3つの形態の異なるターンの総称。